

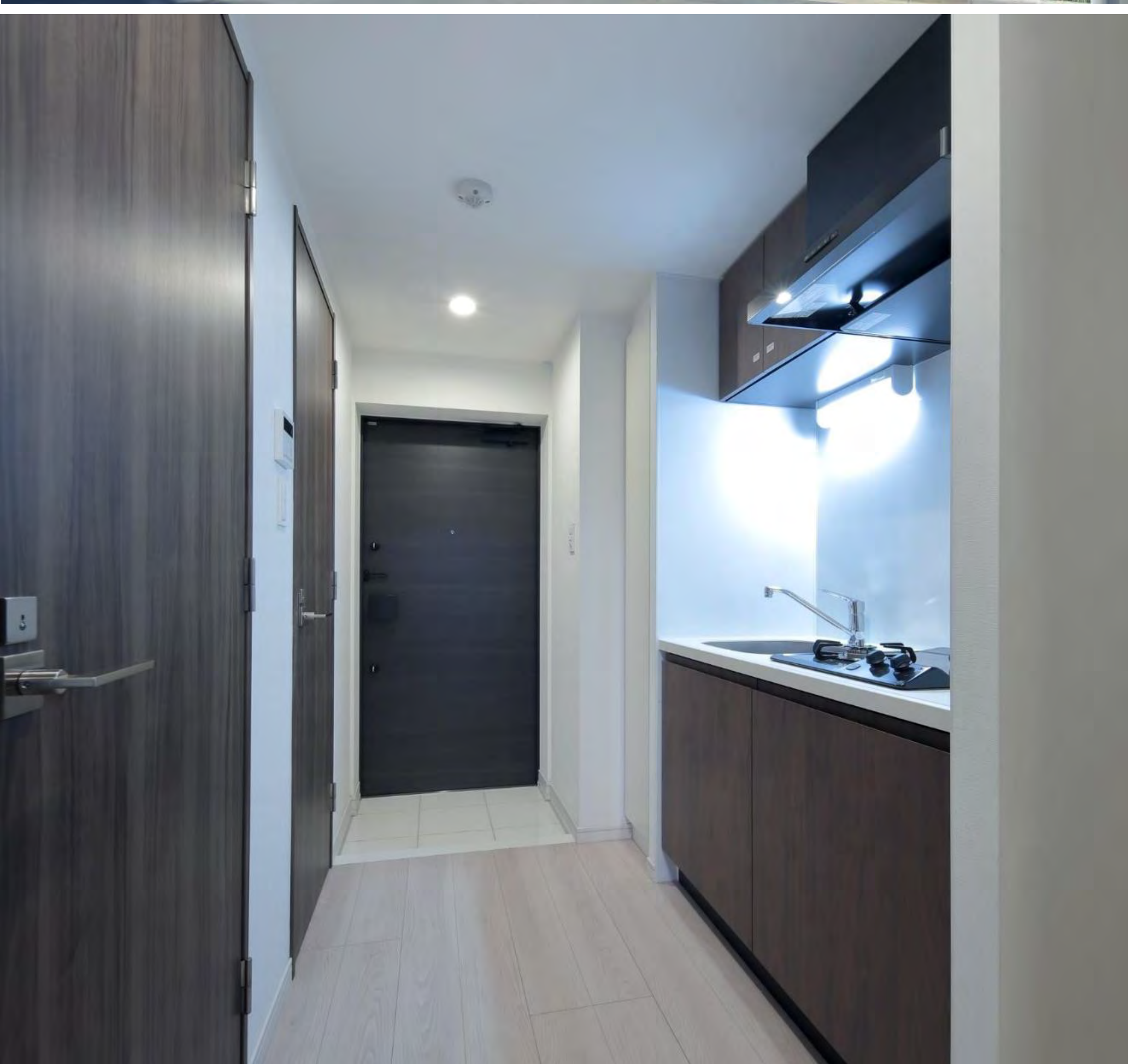
2025年6月期 第2四半期

決算補足説明資料



株式会社デュアルタップ
(東証スタンダード・名証メイン 3469)

2025年 2月 14日



目次

00 会社概要

- ・会社概要
- ・企業理念
- ・事業概要
- ・沿革

01 業績サマリー

- ・2025年6月期 事業別サマリー
 - (1)不動産販売事業
 - (2)賃貸管理事業
 - (3)建物管理事業
 - (4)海外事業
- ・BS概要
- ・PL概要
- ・四半期別業績推移
- ・セグメント情報
- ・2025年6月期 業績予想

02 事業詳細

- ・事業の詳細説明
 - (1)不動産販売事業
 - └ 当社の強み「開発力」
 - └ 自社ブランド「XEPEC」
 - (2)賃貸管理事業
 - (3)建物管理事業
 - (4)海外事業

03 トピックス

- ・3か年計画:4つの重点戦略
 - └ 新株予約権(行使価額修正条項付)の第三者割当発行
 - └ 業績連動型株式報酬制度(パフォーマンス・シェア)の導入
 - └ 名古屋証券取引所へ重複上場申請
 - └ 株主優待制度新設
 - └ サステナビリティ:女性活躍推進
 - └ DX化の積極導入

04 Appendix

- ・株主通信
- ・メディア情報
- ・参考情報リンク集
 - └ 各種IR情報発信ページ
 - └ 当社SNS



00 会社概要

会社概要

社名	株式会社デュアルタップ
代表者	臼井 貴弘
所在地	東京都中央区日本橋久松町4-7
設立	2006年8月
資本金	226,518千円(2024年12月末時点)
従業員数	223名(2024年12月末時点/連結子会社含)
事業内容	不動産企画・開発事業 不動産分譲事業 賃貸管理事業 建物管理事業 海外不動産事業 損害保険代理店業務
子会社	Dualtap Building Management Sdn. Bhd. 株式会社デュアルタップコミュニティ 株式会社建物管理サービス 株式会社デュアルタップアセットマネジメント (旧 株式会社デュアルタップインターナショナル)



臼井 貴弘 Takahiro Usui

1977年生まれ。東京都出身。本籍地名古屋。
2000年 不動産売買・仲介会社入社後、不動産アセット・プロパティマネジメント事業取締役就任
2006年8月 株式会社デュアルタップ設立、代表取締役社長就任。デュアルタップ合人社ビルマネジメント、デュアルタップコミュニティを設立し、各社の代表取締役 及びマレーシア建物管理会社Dualtap Building Management Sdn. Bhd. のDirectorを歴任

役員一覧	代表取締役社長	臼井 貴弘
	取締役	藤村 由美
	取締役	大野 慎也
	社外取締役(監査等委員)	籠原 一晃
	社外取締役(監査等委員)	酒井 康弘
	社外取締役(監査等委員)	木呂子 義之
	特別顧問	中川 秀直
	顧問	松本 鉄郎

企業理念



事業概要

Mission 笑顔創造企業

わたしたちデュアルタップは
「不動産を通じての知的エンターテインメント」を
提供する企業です

不動産を通じ お客様の笑顔に貢献したい

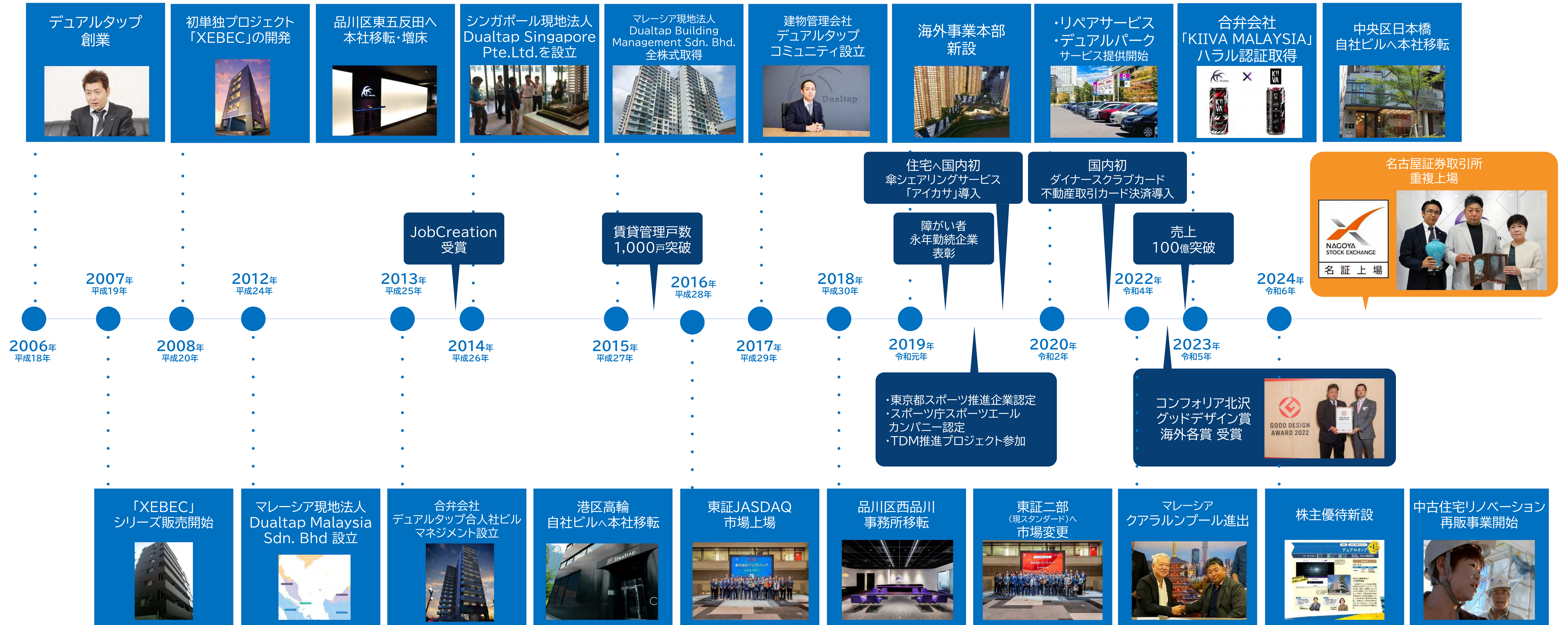
そしてこれを企業理念として掲げ

これからも一人でも多くの笑顔を創造し

さらなるお客様の発展をお約束します



沿革





01 業績サマリー

2025年6月期 第2四半期 事業別サマリー(1) 不動産販売事業

計画通り物件の売却が進み

前年同期比で売上が 2024年6月期2Q 約**539.4%増** (2025年6月期2Q 4.51億 ▶ **28.87億**)

仕入れを積極的に進めている

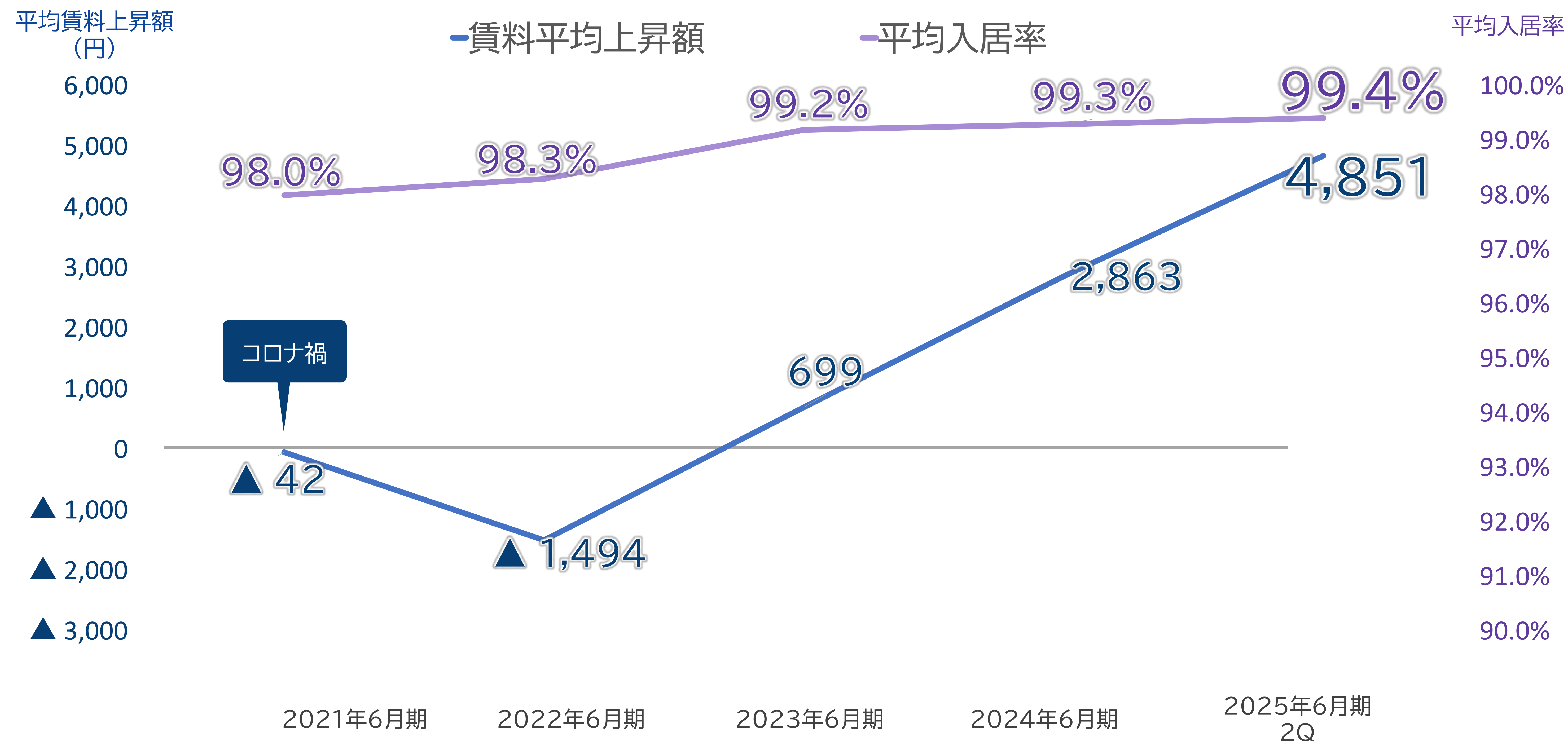
販売用不動産及び開発用不動産の在庫は順調に積みあがっている

- ・23区内+新規エリア(名古屋駅前)
 - ▶ 墨田区、江東区、品川区、大田区、世田谷区
渋谷区、中野区、杉並区、荒川区、板橋区、葛飾区
- ・取引先との強固な信頼関係により、継続的な物件仕入れが可能となっている
- ・仕入れのための資金調達も順調
 - ▶ 金利上昇リスクに備え、新規の借入先の開拓や、資金調達手段の多様化を積極推進
- ・第3Q以降の売上げ見通しも堅調

2025年6月期 第2四半期 事業別サマリー(2) 賃貸管理事業

高い入居率を維持し、賃料は継続して上昇傾向

- ▶ 物価上昇の影響を踏まえ、賃料を適正水準に再設定
入居者満足度を高めて、さらなる賃料の最適化を継続的に検討



	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期	2025年6月期 2Q
平均入居率	98.0%	98.3%	99.2%	99.3%	99.4%
平均賃料上昇額(円)	▲42	▲1,494	699	2,863	4,851

・入居率

99.4%と高い水準を維持(上期平均)

・賃料上昇額

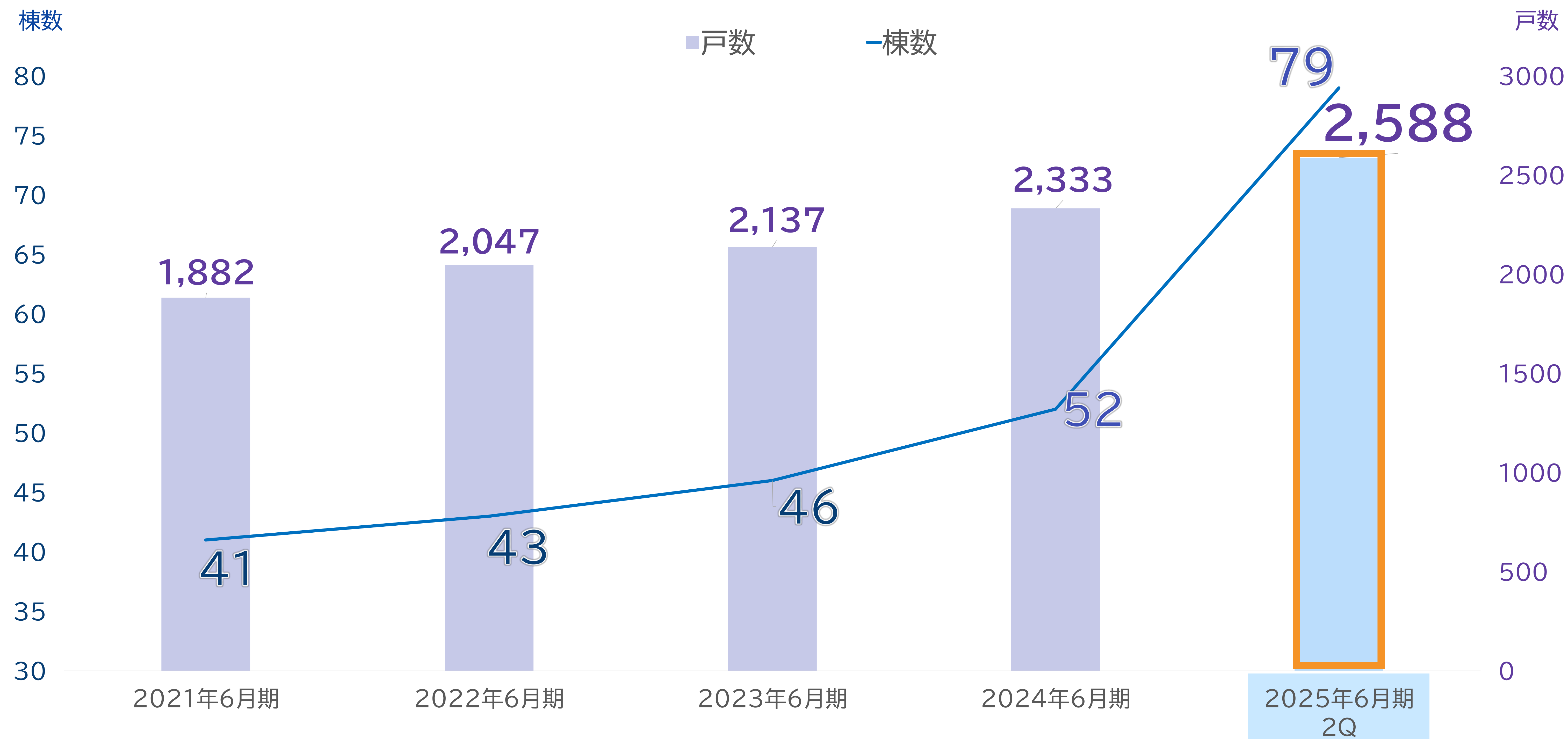
平均賃料上昇額は**4,851円**
50,000円上昇した物件も

- ▶ 仲介業者とのネットワークを強化
- ▶ インバウンド需要の拡大に対する受け入れ態勢を強化
 - ↳ 外国在住の人も審査可能な保証会社との提携
 - ↳ 多言語対応の24時間サポート

2025年6月期 第2四半期 事業別サマリー(3) 建物管理事業

建物管理事業は大幅に管理棟数が増加

▶ 独自の提案型ソリューションを通じ、競合他社との差別化を実現



棟数	41	43	46	52	79
戸数	1,882	2,047	2,137	2,333	2,588

・ 市場からの高い評価を受け
順調に管理棟数が増加

- ▶ 豊富な業務ノウハウに基づく高品質な管理体制
- ▶ ホスピタリティを重視したサービスと柔軟な提案力
- ▶ 競争力のある価格設定
- ▶ 小規模物件から大規模物件まで対応する丁寧かつ、きめ細やかな提案

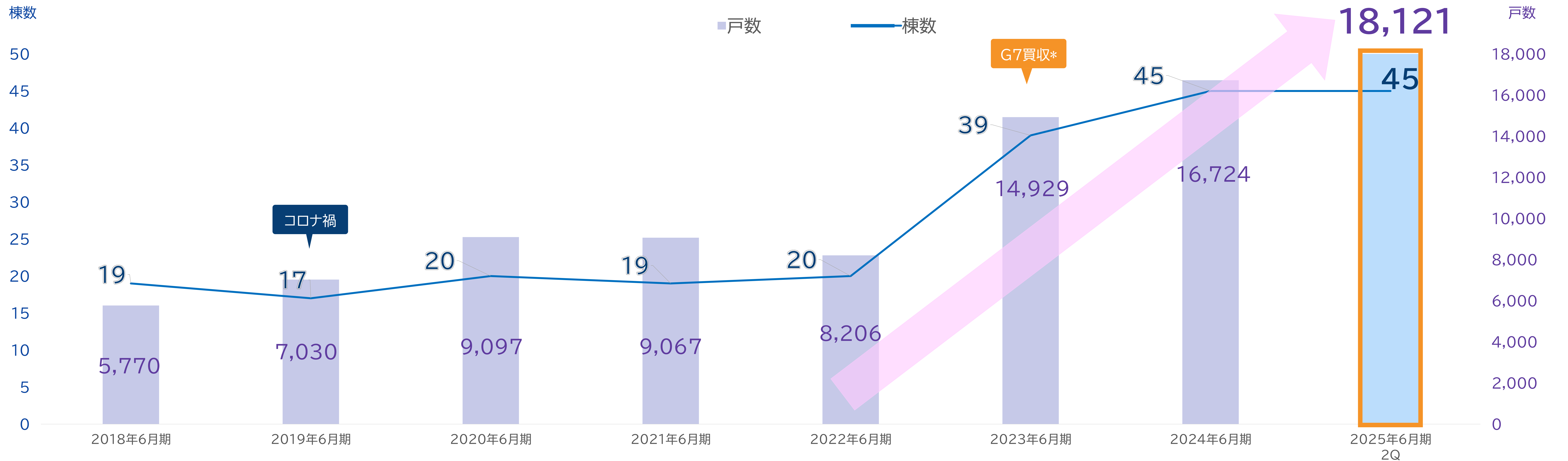
→ 契約継続率 **100%**

- ・ 大型物件の受注も順調
- ・ 人財強化でさらなる拡大を目指す
- ・ 継続してDX化を進める
- ・ 協力会社増 ▶ 案件増

2025年6月期 第2四半期 事業別サマリー(4) 海外事業

マレーシア建物管理 日本の強み「おもてなし」を活かした建物管理で好調

- ▶ 建物管理事業開始から**10年**でジョホールエリアにおいて **TOP5**クラスの地位を確立
- ▶ 管理戸数は順調に増加



棟数	19	17	20	19	20	39	45	45
戸数	5,770	7,030	9,097	9,067	8,206	14,929	16,724	18,121

*G7…KLの建物管理会社

BS 概要

単位:百万円、%

	第18期 2024年6月期	構成比	第19期2Q 2025年6月期	構成比	前期比 増減額
流動資産	4,487	74.8%	3,500	70.0%	△ 987
現金及び預金	1,030	17.2%	1,106	22.1%	+76
販売用不動産	1,866	31.1%	1,473	29.5%	△ 393
仕掛販売用不動産	1,262	21.1%	656	13.1%	△ 606
固定資産	1,509	25.2%	1,495	30.0%	△ 14
資産合計	5,996	100.0%	4,995	100.0%	△ 1,001
流動負債	2,234	37.3%	1,196	23.9%	△ 1,038
固定負債	1,973	32.9%	2,005	40.1%	+32
純資産	1,788	29.8%	1,794	36.0%	+6
自己資本比率	29.7%	—	35.6%	—	+5.9%
有利子負債	3,770	62.9%	2,760	55.1%	△ 1,020

PL 概要

売上高は前年同期比 217.8%増、通期計画に対し売上高達成率は約 38.8%

- ▶ 当初より下期での販売を予定しており、計画通り
- ▶ 建築工程も予定通り

単位:百万円、%

	第17期 2023年6月期 2Q	第18期 2024年6月期 2Q	第19期 2025年6月期 2Q	前年同期比		通期計画比	
	実績	実績	実績	増減額	増減率	計画	達成率
売上高	6,230	1,135	3,607	2,472	217.8%	9,300	38.8%
営業利益	448	△ 298	23	330	—	260	8.8%
経常利益	420	△ 332	△ 7	339	—	170	—
親会社株主に帰属する当期純利益	273	△ 332	38	370	—	100	—

四半期別業績推移

単位:百万円、%

仕入は順調。3Q以降、計画どおりに販売を予定

決算期	第18期 2024年6月期					第19期 2Q 2025年6月期				
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q3	Q4	通期
売上高	570	565	1,703	2,333	5,172	1,727	1,879	—	—	3,607
売上原価	455	457	1,413	2,002	4,329	1,467	1,671	—	—	3,138
売上原価率 (%)	79.8	80.9	83.0	85.8	83.7	84.9	89.3	—	—	86.7
売上総利益	114	107	289	330	842	260	207	—	—	468
営業利益	△148	△150	△7	50	△255	17	6	—	—	23
営業利益率 (%)	△25.9	△26.7	△0.4	2.2	△4.9	1.0	0.3	—	—	0.6
経常利益	△155	△176	△24	24	△331	0	△7	—	—	△7
四半期純利益	△163	△168	△38	△15	△386	△2	42	—	—	39

セグメント情報

セグメント別売上

単位:百万円

	第18期 2Q 2024年6月期	第19期 2Q 2025年6月期	前期比
セグメント	売上高	売上高	増減
不動産販売事業	451	2,887	2,436
不動産管理事業	531	549	18
◇賃貸管理事業	427	433	6
◇建物管理事業	104	116	12
海外不動産事業	142	170	28
合計	1,135	3,607	2,472

不動産販売事業

- ・計画通り物件の売却が進み
前年同期比で売上が約24.63億 増

賃貸管理事業

- ・入居率 99.4%(6月末時点)
- ・賃料がコロナ禍以前の賃料水準を上回るまでに上昇(最大50,000円アップ)

建物管理事業

- ・コンサル・既存顧客からの案件紹介増加
- ・新規管理物件の受注の増加
- ・利便性向上のソリューションの導入

海外不動産事業

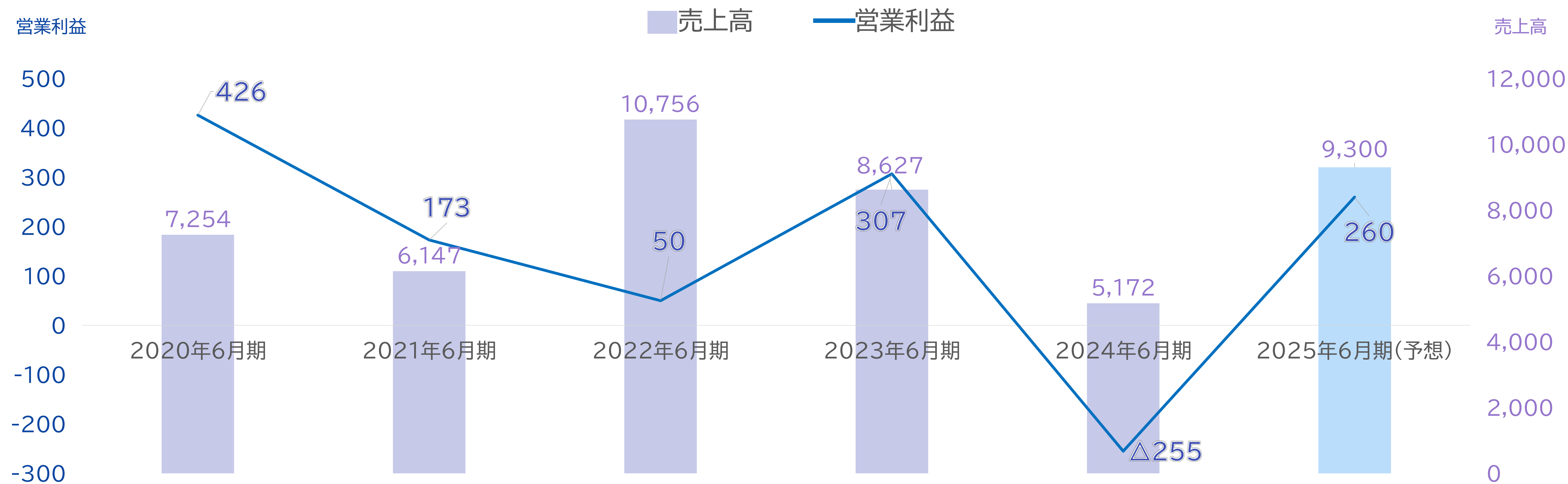
- ・大型コンドミニアム、戸建街区の新規受注
- ・日本流の強みを活かした建物管理サービスの提供

2025年6月期 業績予想

経営基盤を強化し、安定成長へ

2025年6月期は「3か年計画」の2年目目標の 数値通りを見込む

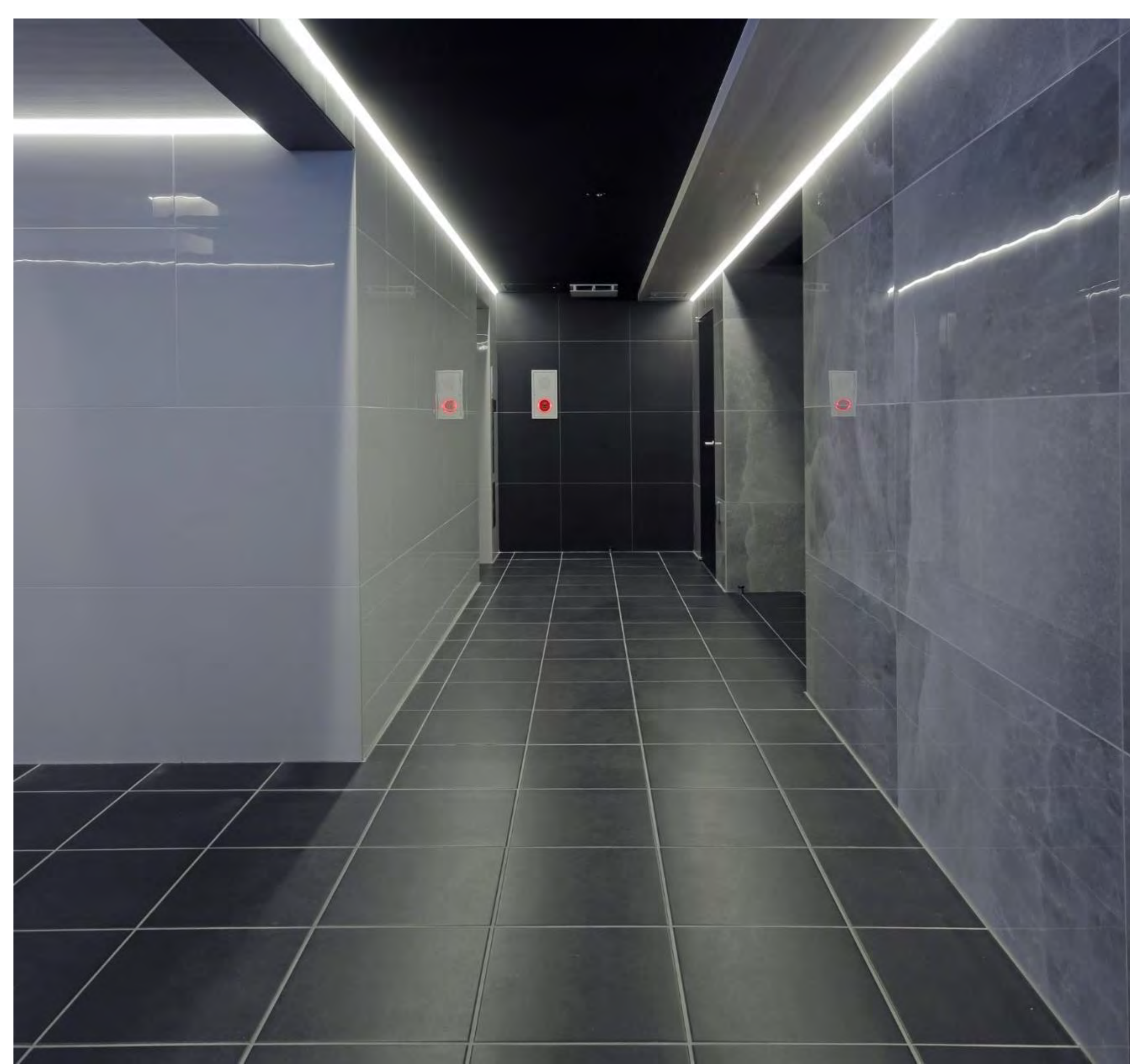
▶ 2025年6月期は 売上93億円 営業利益2.6億円を目指す



売上高	7,254	6,147	10,756	8,627	5,172	9,300
営業利益	426	173	50	307	△255	260
営業利益率	5.9%	2.8%	0.5%	3.6%	△4.9%	2.8%

単位:百万円

第19期 2025年6月期 予想	
売上高	9,300
営業利益	260
経常利益	170
親会社株主に帰属する当期純利益	100



02 事業詳細

不動産販売事業 - 当社の強み「開発力」

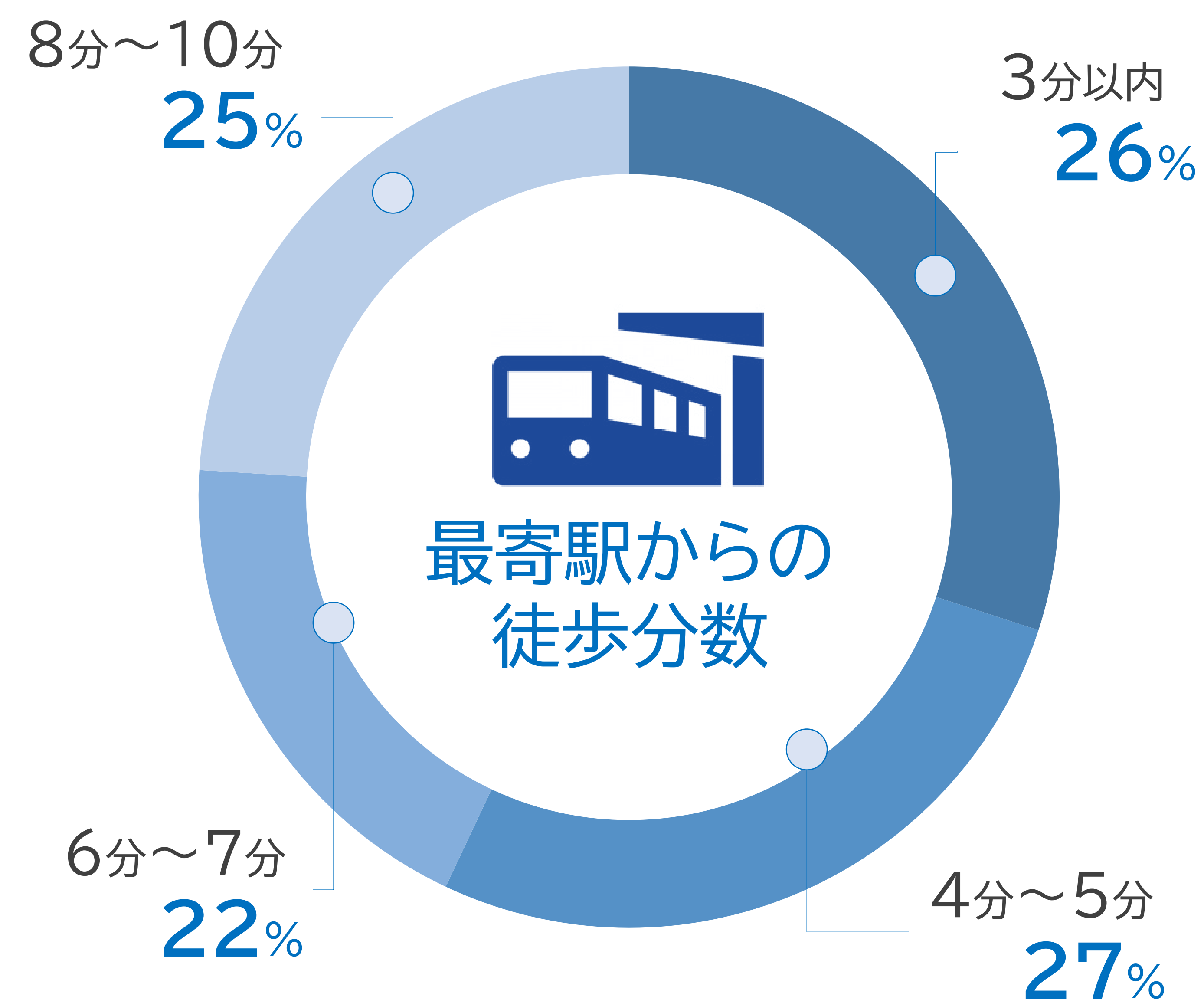
駅徒歩10分以内の開発力

「^{ジーベック*}XEBEC」= 駅チカ

*当社自社ブランド

▶ 供給物件の**53%**以上が

駅から**徒歩5分以内**の立地



最寄駅からの
徒歩分数

*2024年6月実績



駅から徒歩 **4**分



駅から徒歩 **1**分



駅から徒歩 **1**分

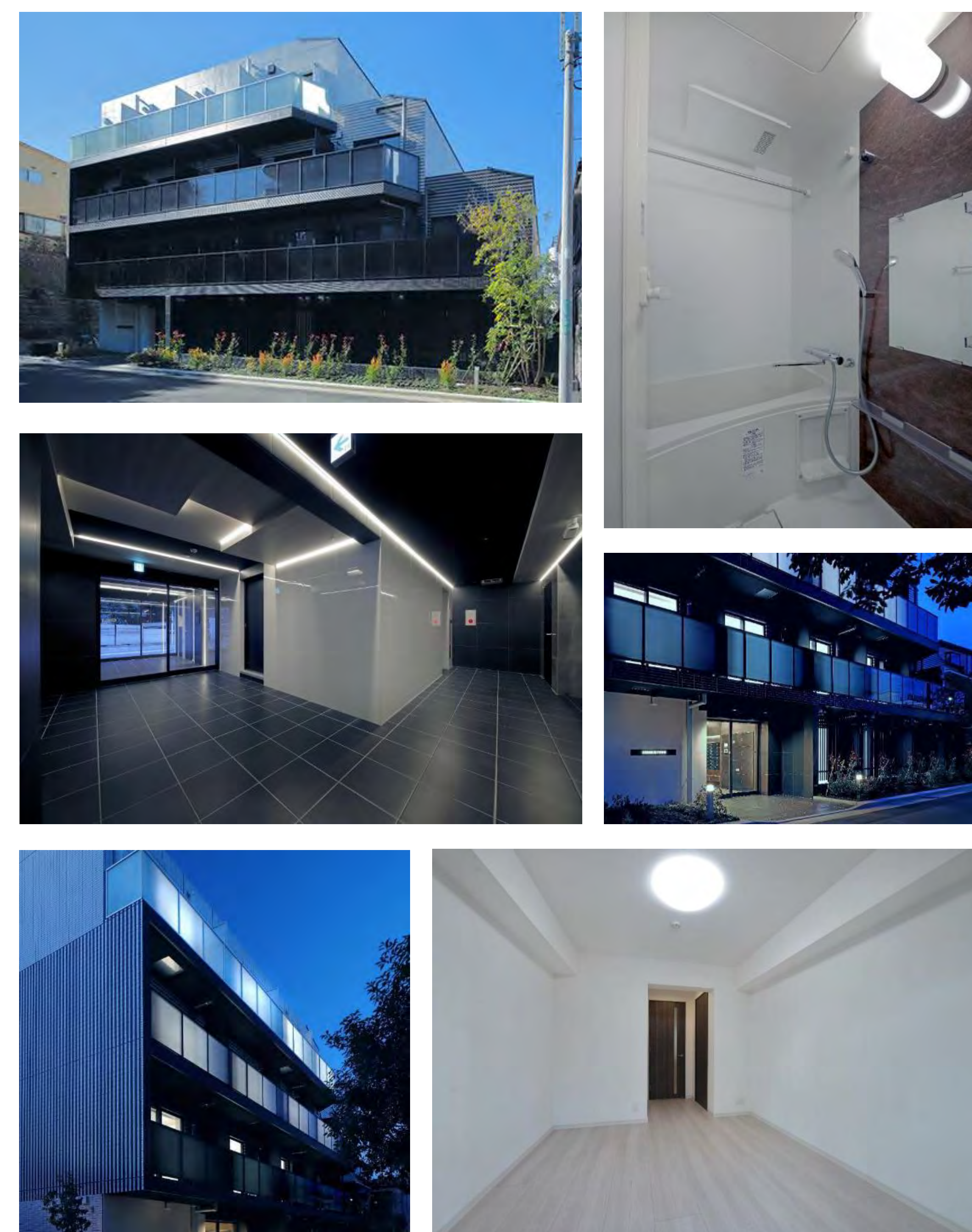


駅から徒歩 **5**分

マンション企画・開発実績

東京23区内で 累計 **76** 棟
2,497 戸の供給実績

*2024年6月実績



不動産販売事業 - 自社ブランド「XEPEC(ジーベック)」

XEPECシリーズのこだわり

高品質の素材 × 高機能な設備 × 高いデザイン性



- ▶ 床材やドア・収納に使用するシート材
 - └ 美しく、より強く、傷のつきにくい素材を採用
- ▶ 水回り
 - └ 耐久性があり割れにくくデザイン性の優れたタイル素材を採用
- ▶ 機能面:「暮らしやすい住まい」の実現
 - └ 引き戸を採用
 - └ トイレや洗面台の収納スペースなどスペースの有効活用に徹底的にこだわる



- ▶ 一般的な投資用物件ではあまり見られないような機能を装備
- ▶ ワイドシンクのキッチン
- ▶ ゆったりサイズのバスルーム
- ▶ お風呂の追い焚き機能
- ▶ IoT機器



- ▶ デザイン性
 - └トレンドを取り入れるだけでなく色のコーディネートにもこだわる
- ▶ 高いデザイン性と持続可能な美しさが評価
 - └ 「グッドデザイン賞」
 - └ 「FXデザインアワード(英)」
 - └ 「A' デザインアワード(伊)」
 - └ など世界的デザイン賞を多数受賞

賃貸管理事業

安心のサポートシステム



家賃管理
集金代行など家賃に関する業務の代行



契約管理
入居・退去・交渉



24時間365日
夜間・休日でも
入居者から出てくる
トラブル・クレームを対応・解決



空室管理
サブリースシステム^(※1)
※定期的な賃料の見直し及び借地
借家法第32条の規定により賃料が
減額される場合があります。



多言語対応
グローバルな
入居対応



**最短期間で
リフォーム対応**
空室期間を
できるだけ短期に

仲介会社とのネットワークの強化

直接訪問し、仲介会社との関係性を強化

「深いネットワーク」で当社管理物件の魅力を
入居者に存分に伝えていただいています



賃貸管理事業

入居率99%以上の理由

協力会社との連携で 迅速なリフォーム対応を実現

- ▶ 入居者の退去後、迅速にリフォームを完了し
空室期間を最小限に抑えることで、安定した入居率を維持
- ▶ 業務効率の向上を図るとともに協力会社との強固な連携を築き
スムーズなリフォーム対応を実現
- ▶ オーナー様の資産価値の最大化に貢献



在日外国人向けに8か国語で対応 約360万人のマーケットにアプローチ

- ▶ 外国人専門の保証会社との提携により
家賃滞納や生活トラブルのリスクを軽減
- ▶ 外国人入居者問題に精通したコンサルタントとの連携で
スムーズな入居・管理体制を構築
- ▶ 多言語対応スタッフの採用や業務提携により入居者対応の質を向上



賃貸管理事業

契約業務電子化システムを導入

契約業務の効率化

電子契約によるペーパーレス化で契約締結までのスピードが大幅に向上し、リソースを節約

業務コスト削減

印刷・郵送・保管にかかる費用を削減し
全体的なコストの圧縮を実現

セキュリティとコンプライアンス強化

電子署名と一元管理による契約内容の透明性向上と
改ざん防止、監査対応の効率化を実現

契約書のやりとりはインターネット上で完結!

不動産会社さま

契約書の進捗はWeb上で確認できる!

不動産会社さま

自宅にいながら契約が可能!

エンドユーザー

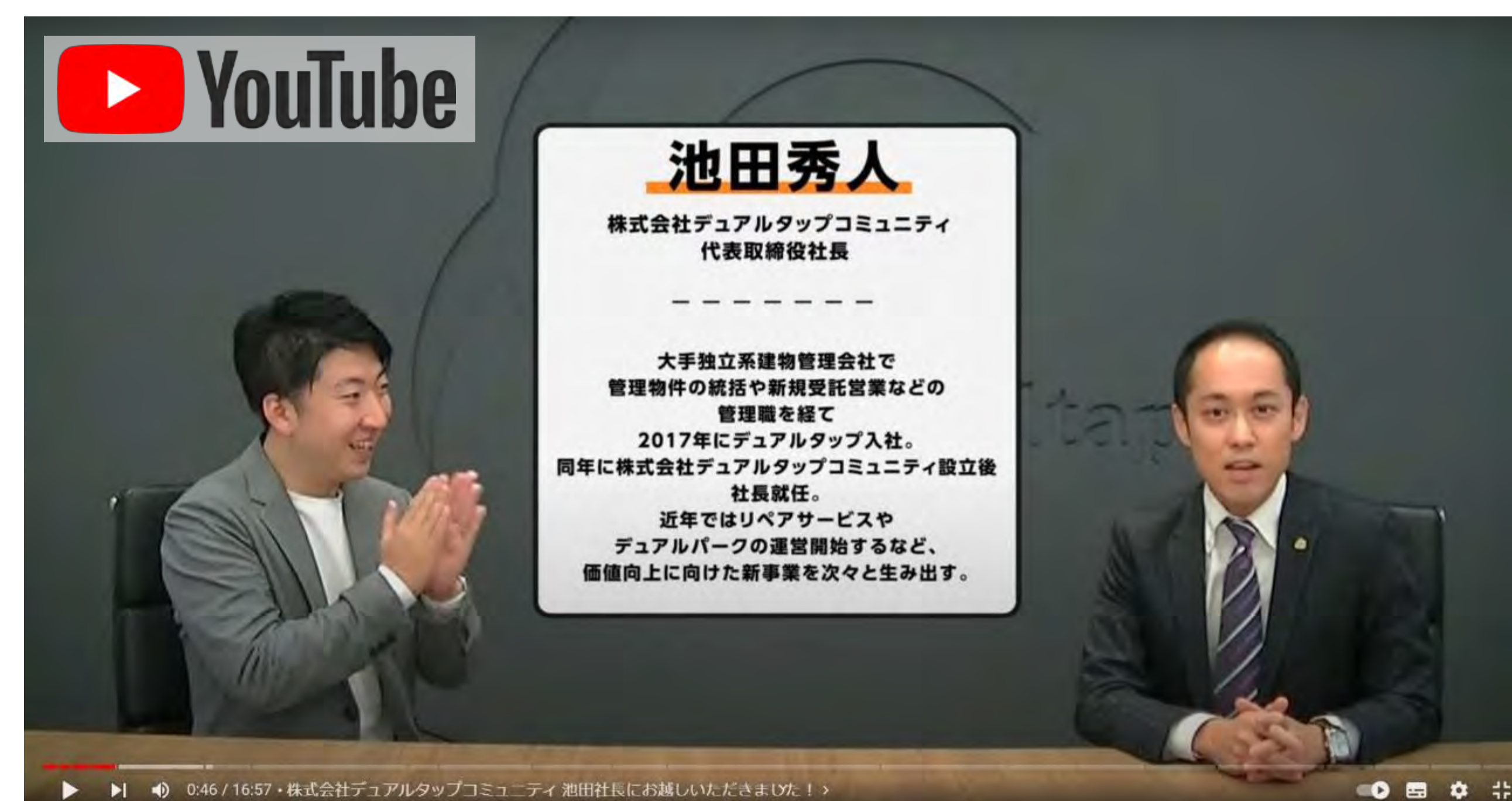
さまざまな契約書などを電子化

建物管理事業

管理組合や理事長様からご評価 いただいております

事業開始(2017年)から

契約継続率 100%



<https://youtu.be/uF5wBrZ5vKA?si=Q7YFy8XbMrr1Zp-M>

◀ YouTube にも出演中

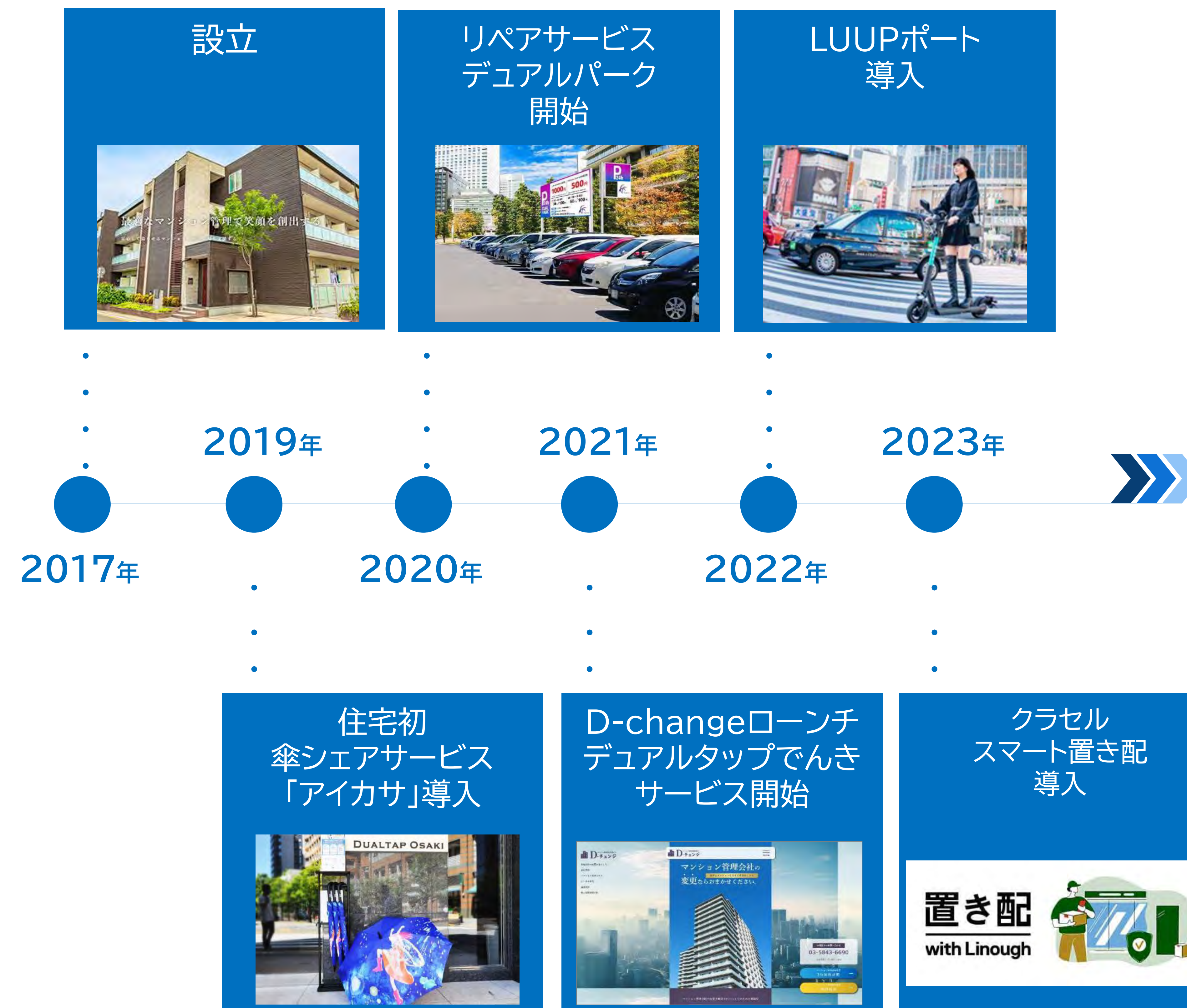
【マンション経営のプロが教える】
建物管理は絶対に委託すべき！
管理会社選びの3つのポイント

建物管理会社を選ぶ際の3つのポイントや、管理費・修繕費、よくあるトラブルと予防法などを詳しく解説しています。



事業提携・新サービスを提供

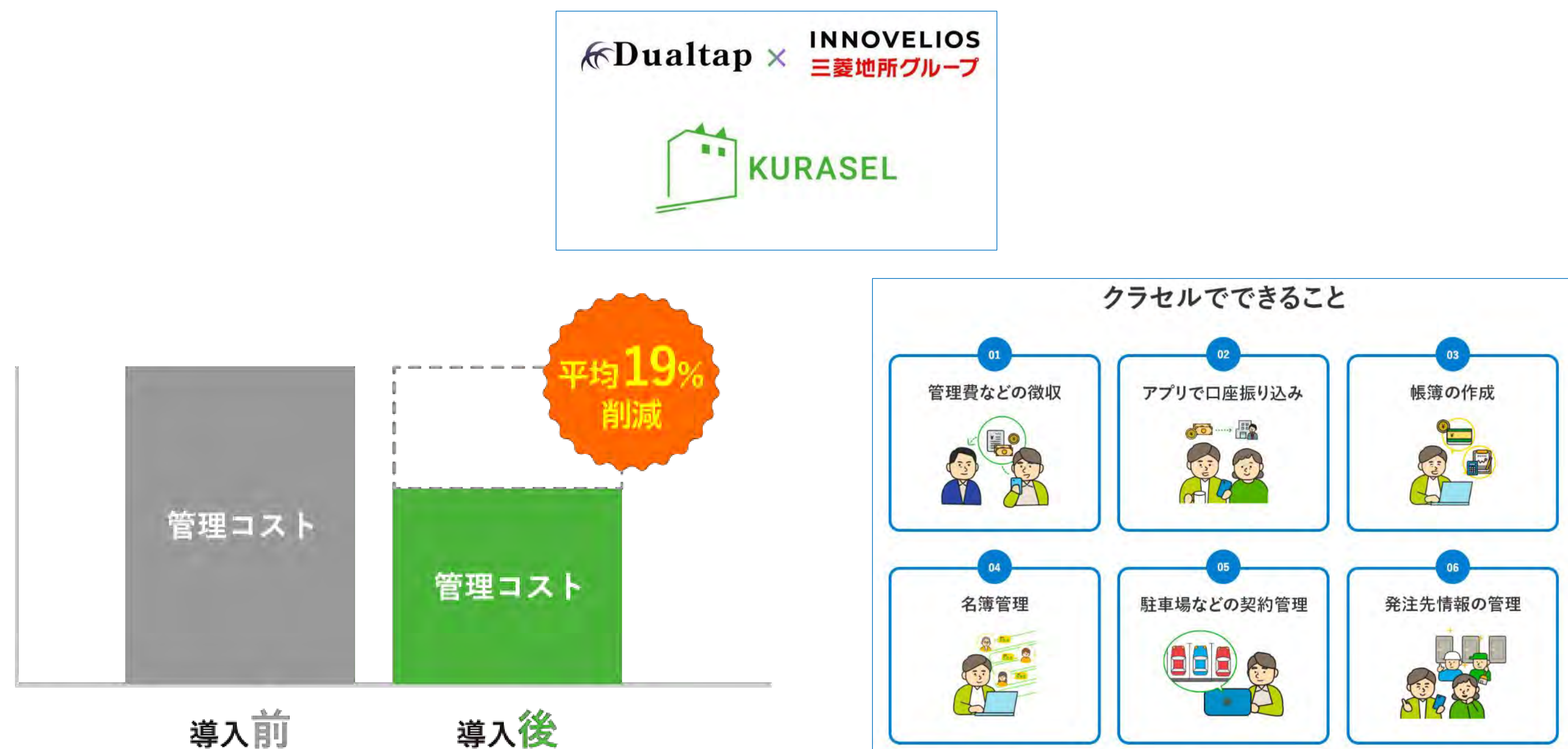
- ▶ 事業開始から事業提携や新サービスを提供
管理組合や理事長様の利便性の向上と収益アップに貢献



建物管理事業 - 新しい取組「クラセル」/「D-change」の紹介

マンション管理業務を自動化・簡略化できる「KURASEL(クラセル)」導入

- ▶ イノベリオス株式会社が提供する新しいマンション管理アプリ「KURASEL(クラセル)」を導入
- ▶ 煩わしいマンション管理業務を自動化・簡略化できコストの削減にも貢献
- ▶ 管理不全問題や老朽化マンション問題などの社会課題解決に寄与



マンション管理相談サイト「D-Change」が大好評

- ▶ 管理のプロが相談事の解決に向けてお手伝い
- ▶ 管理組合の目線で適正価格を提案
- ▶ 事例集やコラムなどの充実のメニュー



サイトはこちら



<https://d-change.jp/>

建物管理事業 – 成功事例

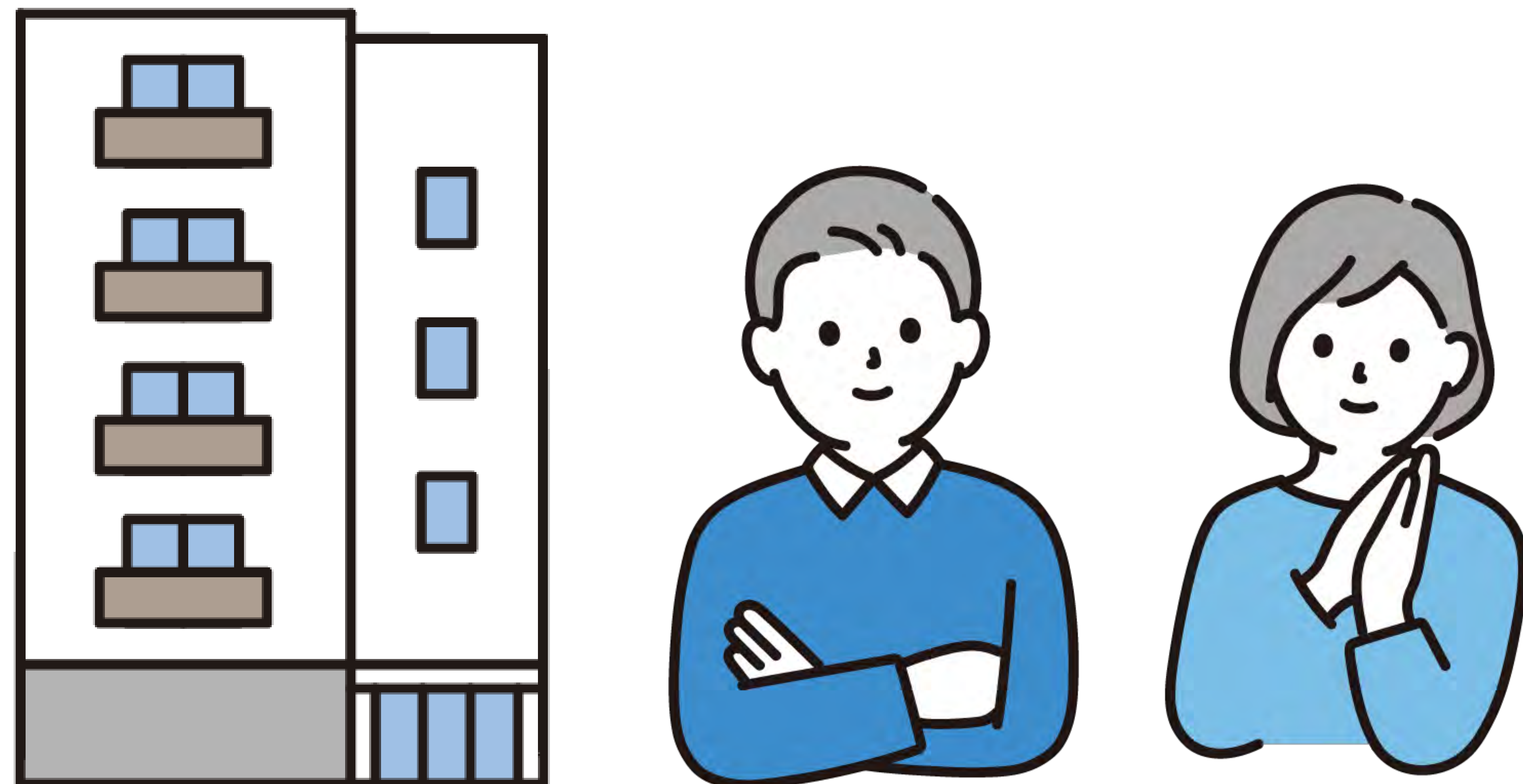
管理組合費の収支が大幅に改善

年間削減額

約 **120** 万円

お客様情報

- ・ 東京都墨田区 地上9階 30戸
- ・ 竣工 2002年(築23年)



当社への変更の理由

- ▶ 管理会社の対応が非常に遅かった
- ▶ 担当者の頻繁な交代による引継ぎ不足
- ▶ 工事の見積もり対応が遅く、金額が高かった

管理組合様からの声

- ▶ 理事会議事録の提出が**迅速化**された
- ▶ 課題解決により理事会の**時間短縮**(当初 4~5時間 → 現在 約1時間以内)
- ▶ 管理委託料・電気代の**削減**
- ▶ 収支が**大幅に改善**

海外事業

大型コンドミニアムの新規受注管理開始

Garden Residences



当社管理物件の中で
2番目に大きなコンドミニウム
受注成功

地域 ジョホールバル

種別 コンドミニウム

戸数 1,140 戸

管理開始 2024年12月

海外事業 - 日本流の強みを活かした 建物管理

日本文化「おもてなし」の建物管理サービス 「おもてなし研修」で 日本流の強みを活かす

- ▶ 日本式Hospitalityとして挨拶や施設内のごみ拾い等を日常的に行えるよう指導
- ▶ 日本規律性として時間厳守や「ホウ・レン・ソウ(報連相)」の徹底を促す
- ▶ その土地や住む人に合う、マニュアルの枠を超えたスキルやチームワーク、お客様へ最高のサービスの提供
- ▶ おもてなしのサービスで感動とエンタテインメントを提供



日本の夏祭りをイメージした 特別イベントを開催

- ▶ 管理物件で「NATSU MATSURI(夏祭り) 2024」を開催
無料でおにぎりやたこ焼き、枝豆など日本食やマレーシアフードを提供
- ▶ 入居者やオーナーを中心に 200名近くが来場
- ▶ 日本人学校への送迎があり、周辺にも日本食レストランがあり
マレーシア駐在の日本人に特に人気の物件



海外事業

社内外での交流を強化

基金を活用し社員研修を実施

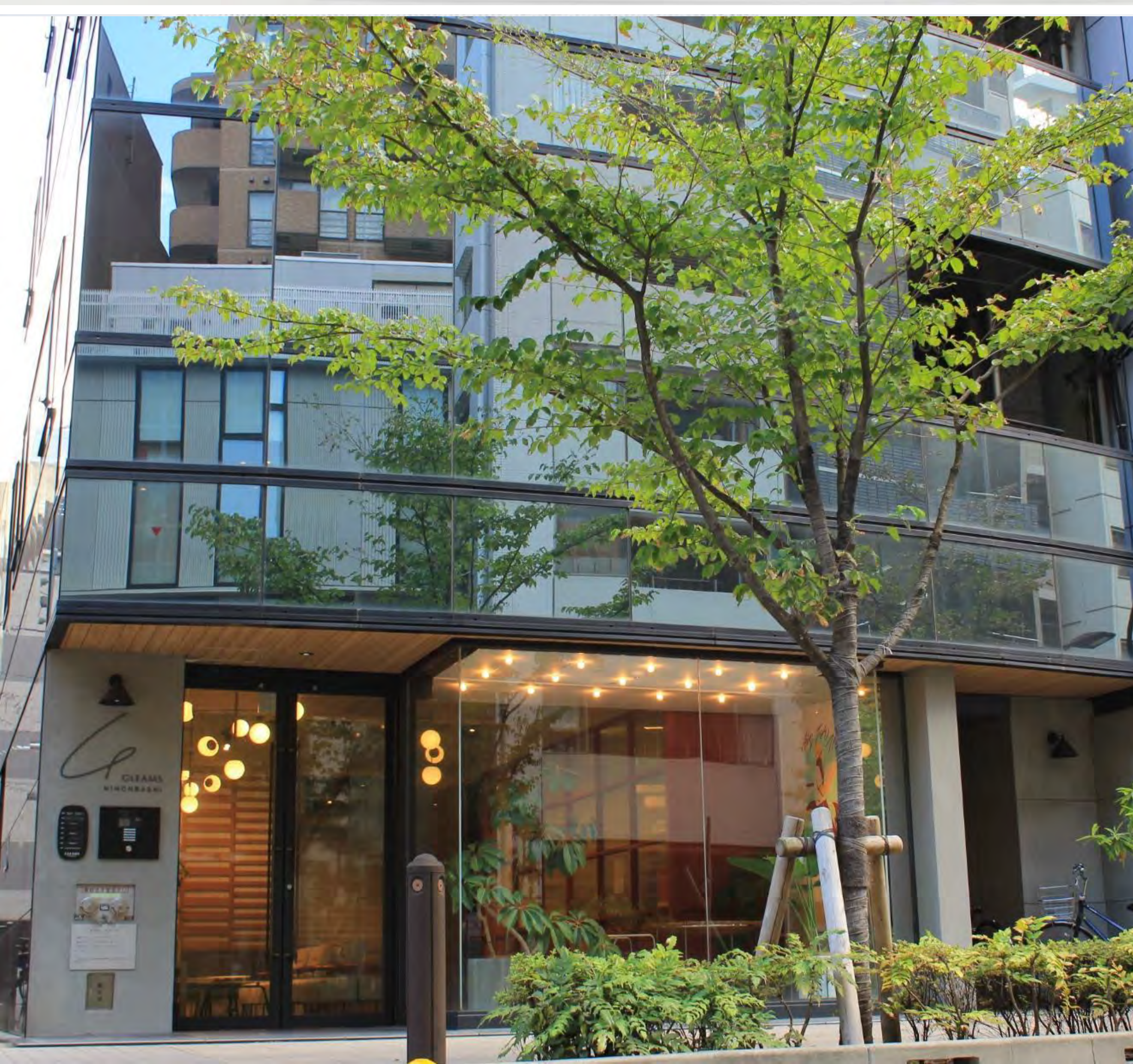


- ▶ HRDF(マレーシア人的資源開発基金)を活用し社員研修を実施
ジョホール郊外のDesaruで実施
- ▶ 研修内容:リーダーシップ・コミュニケーション・区分所有法
- ▶ 従業員同士の交流の機会を醸成

日系企業での勉強会



- ▶ 日系企業勉強会への参加
- ▶ コンプライアンスや最新動向を共有
- ▶ マレーシア国内でのネットワーク強化



03 トピックス

「3か年計画:4つの重点戦略」の進捗

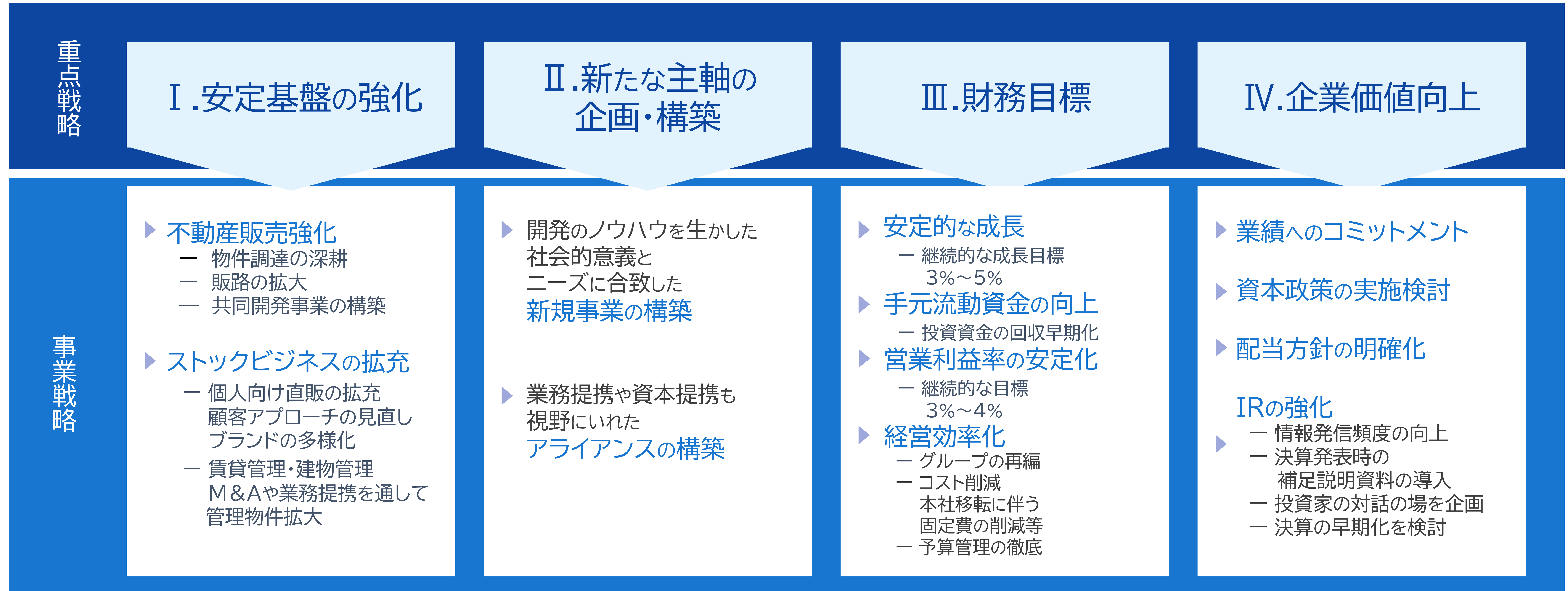
I 安定基盤の強化

II 新たな主軸の企画・構築

III 財務目標

IV 企業価値向上

3か年計画：4つの重点戦略



3か年計画：4つの重点戦略

I 安定基盤の強化

II 新たな主軸の企画・構築

III 財務目標

IV 企業価値向上

新株予約権(行使価額修正条項付)の第三者割当発行 (2024年12月6日開示)

中長期的な成長戦略を支援する資金調達手段として
第三者割当による第4回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行をいたしました

新株予約権の概要

発行日	2024年12月23日
発行数	5,600個
潜在株式数	560,000株
調達予定資金	565,804,700円
行使期間	2024年12月24日~2026年12月23日
割当先	SBI証券

資金調達の目的

1.不動産仕入れ資金

- ・投資用不動産の企画・開発・販売
- ・大型物件の取扱い
- ・ストックビジネスの拡大

2.財務基盤の強化と資金流動性の確保

- ・新規事業の創出
- ・アライアンス構築
- ・成長分野への投資

機動的資金調達で 持続的成長を 目指す

3か年計画：4つの重点戦略

I 安定基盤の強化

II 新たな主軸の企画・構築

III 財務目標

IV 企業価値向上

業績連動型株式報酬制度(パフォーマンス・シェア)の導入 (2024年8月28日開示)

当社は、役職員向けのインセンティブプログラムの拡充を目的として、「業績連動型株式報酬制度(パフォーマンス・シェア)」を導入いたしました。

本制度は、**当社の中長期的な業績向上と企業価値の向上**を図るため、**役職員が会社の成長に貢献するインセンティブを強化**するものです。

導入のポイント

- ▶ **対象者**：取締役および従業員
- ▶ **報酬の形式**：業績目標の達成度に応じた株式の付与
- ▶ **目的**：中長期的な**企業価値の向上**と役職員の**モチベーション向上**



3か年計画: 4つの重点戦略

I 安定基盤の強化

II 新たな主軸の企画・構築

III 財務目標

IV 企業価値向上

名古屋証券取引所へ重複上場

(上場日:2024年8月29日)

- ▶ 認知度向上
- ▶ 個人投資家へのアピール
- ▶ 今後の事業戦略の拡大を見据えて



名古屋証券取引所について

- ▶ 東証に次ぐ国内2番手の証券取引所
- ▶ 個人投資家を重視する証券取引所

名証オンラインセミナー出演決定

開催概要

日時	2/27(木)18:10~
配信方法	Zoomウェビナー
参加料	無料(事前申込制)
プレゼンター	代表取締役社長 臼井 貴弘



説明会について

- ・当社の経営理念や強み
- ・第2四半期決算のポイントと今後の成長見通し
- ・名古屋証券取引所メイン市場上場に込めた狙いと株主還元への考え方
- ・中長期で目指す戦略と今後の方針

などを具体的にご説明する予定です

視聴申込はこちら

名証サイト:デュアルタップセミナーお申込みフォーム



https://www.nse.or.jp/ir_express/form/ir_online2/

3か年計画: 4つの重点戦略

I 安定基盤の強化

II 新たな主軸の企画・構築

III 財務目標

IV 企業価値向上

株主優待を送付しました(2024年4月8日開示)

- ▶ 株主の皆様への感謝
- ▶ 当社株式の投資魅力の向上
- ▶ 認知度のアップ
- ▶ 個人投資家の増加



優待制度の内容

- ▶ 対象: 毎年6月末時点で100株以上保有
- ▶ 優待: 「QUOカード」4000円分
- ▶ 1年以上保有の株主の皆様: 追加で1000円分

※2024年6月末時点の株主名簿に記載または記録の株主の皆様より適用

配当と株主優待を合わせた利回りは12%超

※100株を投資した場合、2024年4月8日終値413円ベース

多数のメディアで取り上げられる

「安くて良い優待ベストセレクション」金券部門で1位に



3か年計画：4つの重点戦略

I 安定基盤の強化

II 新たな主軸の企画・構築

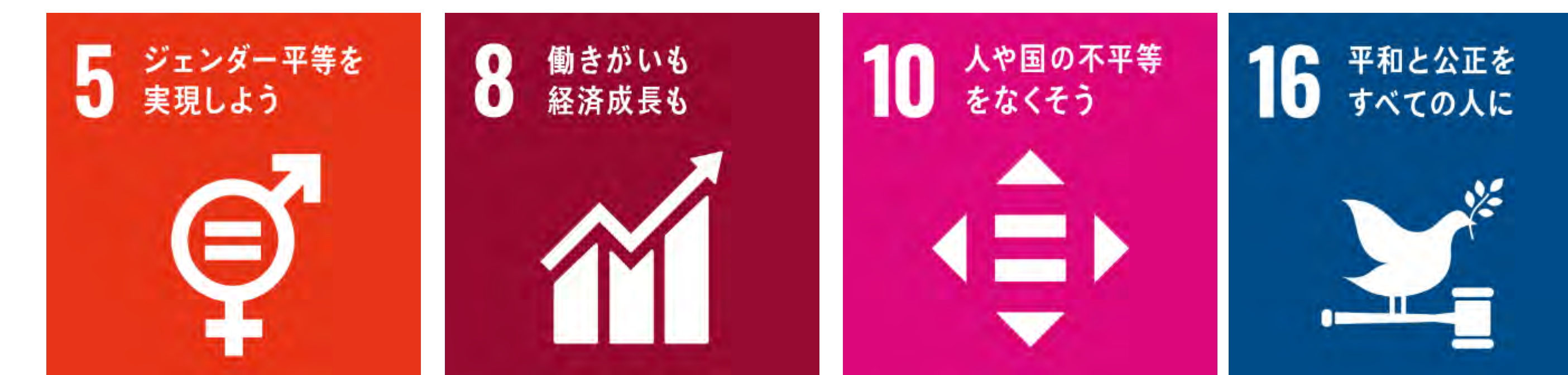
III 財務目標

IV 企業価値向上

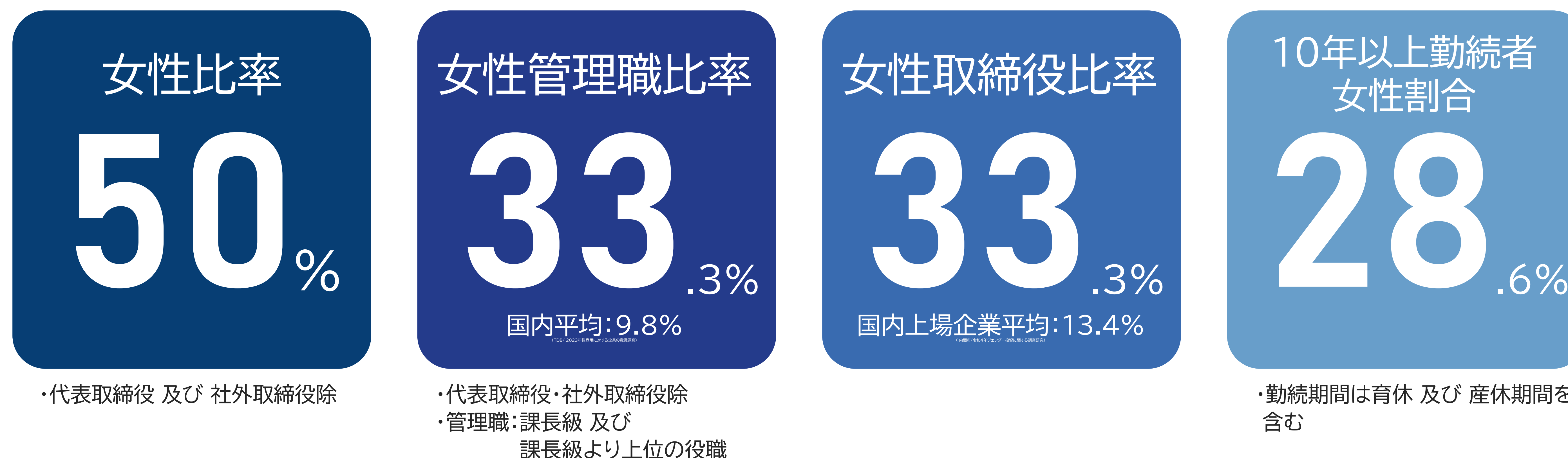
サステナビリティ：女性活躍推進・働きやすい会社づくり

積極的な女性役員・管理職への登用

当社の理念である「笑顔創造企業」の実現を目指し、笑顔で働ける環境づくりと社会の貢献に努めて参ります。



数字でみる デュアルタップの女性活躍推進 (2024年6月末時点)



男性の育児休業取得推進

- ▶ 全国の2023年度における男性の育児休暇の取得率は24.4%に対し、当社は100%取得(2024年6月期)
- ▶ 家族で過ごす時間を「育児休暇」という形で取ることで、仕事の意欲の向上を目指す
- ▶ 育休を取得し易くするため積極的に取得を促し、職場での良好な関係を保つ



参考:デュアルタップコーポレートサイト > デュアルタップグループのサステナビリティ
<https://www.dualtap.co.jp/company/csr.html>

3か年計画：4つの重点戦略

I 安定基盤の強化

II 新たな主軸の企画・構築

III 財務目標

IV 企業価値向上

DX化の積極導入を進め ストックビジネスの拡充を目指す

ユーザー利便性向上の観点では、DX化・オンライン移行への需要が高い

当社も業務作業量削減による効率化が見込めるため、積極導入を進めている

- ▶ 作業効率化及び人員配置の効率化により、営業活動量増加が見込まれる
- ▶ サービス拡充によるユーザー満足度の向上を目指し引き続きDX化を進める

内部 顧客向け	内部	17年12月	勤怠管理システム 	勤怠管理システムの導入	ペーパーレスとデータ化による業務効率化、各種関連法案への対応	
		20年 7月	アンチウイルス 	アンチウイルスのクラウド化	広範なテレメトリデータをゼロトラスト戦略に活用し、迅速に対応 ハイブリッドクラウドとマルチクラウド両方での基幹設備を保護	
		20年11月	ワークフロー 	社内ワークフローのクラウド化	ペーパーレス化と業務効率化を目指し導入したワークフローをクラウド化することで セキュアな環境でリモートワークにも対応、より業務効率化を図る	
		20年11月	資産管理ソフト 	資産管理ソフトのクラウド化	IT資産を一元的に管理し効率よく安全にPCやソフトウェア利用を目指し導入し クラウド化により リモートワークや可搬媒体にも対応	
		18年10月	電子契約 	電子契約システムの導入	顧客とのスムーズなコミュニケーションにより契約締結作業及び管理の効率化とペーパーレス化 コスト削減にも大きく寄与	
	顧客向け	営業	22年5月	不動産業者間サイト 	不動産会社システムの入替	より高度な不動産リーシング業務のワンストップサービスを提供するシステムへ入替 煩雑な賃貸管理業務をオンラインで完結し、ユーザー利便性を向上
			24年12月		契約業務の電子化	より効率的に契約をできるシステムを導入 業務効率の向上と、コスト削減、顧客利便性を向上
			23年5月	賃貸管理・オーナー様専用サイト 	賃貸管理システムのクラウド化	管理業務の効率化を目指し導入したシステムをクラウド化することで より迅速かつ安全なサービスの提供と人員配置の効率化を図る
			17年8月	営業管理システム 	営業サポートシステムの入替	営業提案資料作成の効率化・正確化
			18年3月	CTI・顧客管理システム 	CTIシステムのクラウド化	顧客情報の管理の効率化と、営業と管理部門をより強固に連携させることを目指し導入した 顧客管理システムをクラウド化することで、外出先での営業活動を効率化・顧客満足度の向上



04 Appendix

株主通信-Dualtap Report

2024年6月期より「株主通信」の内容を充実化いたしました



例年、「株主通信」につきましては紙媒体にてお届けしておりましたが、地球環境等を配慮した省資源化の観点も踏まえ、2024年6月期の「株主通信」より、紙での発行を取り止めさせていただきました。

書面は引き続き、当社IRページに掲載をし従来の4ページから、2024年6月期は8ページへ内容を充実化させております。

今後も、皆さまにご理解を深めていただけるよう幅広い情報発信に努めてまいります。



◀ 新しくなった「株主通信」のQRコードはこちら

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3469/ir material for fiscal ym/164233/00.pdf>

メディア情報

新聞『中部経済新聞』(2024年12月19日)

代表取締役社長の臼井が
当社の強み、「XEPEC」の魅力、名証上場の狙いと
今後の展望についてインタビューを受けました



中部経済新聞 12/19号より抜粋

WEB版は以下リンクからご覧いただけます
—ココが聞きたい

デュアルタップ社長 臼井貴弘氏
名証上場の狙いは？ 個人投資家の需要に応える

https://www.chukei-news.co.jp/news/2024/12/19/OK0002412190201_02/

WEBメディア『日経マネー』(2024年12月20日)

優待投資家・桐谷広人さんの連載「喫茶 桐谷」にて
「びっくり優待」として紹介いただきました



日経マネー 12月20日号より抜粋

2024年のびっくり優待、がっかり優待

銘柄名(市場・コード)	株価	優待+ 配当利回り	内容
日本エコシステム (東ス・9249)	4030円	5.03%	200株以上でオリジナルQUOカード1万5000円分(権利月3月、9月)
デュアルタップ (東ス・3469)	1014円	5.17%	100株以上でQUOカード4000円分。1年以上継続保有でQUOカード1000円分追加(権利月6月)
グリーンエナジー& カンパニー (東グ・1436)	2134円	5.29%	300株以上でQUOカード1万5000円分(権利月4月、10月)
メディア工房 (東グ・3815)	441円	9.07%	100株以上保有でQUOカードPay 4000円分。1年以上継続保有で同5000円になる長期優遇制度あり(権利月8月)
No.1 (東ス・3562)	1885円	7.20%	300株以上保有でQUOカードを1万5000円分(権利月2月、8月)

日経マネー 12月20日号より抜粋

詳細は以下リンクをご覧ください。

— 喫茶 桐谷(第8回)「桐谷さんが選ぶ2024年のびっくり優待、がっかり優待」

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB192KC0Z11C24A200000/>

メディア情報

新聞『日本証券新聞』(2025年2月4日)

マーケットアナリスト「平野憲一の相場表街道/裏街道」で当社が紹介されました



多くの投資家がデールの材料と思っていたトランプ米大統領の関税政策は、メキシコとカナダからの輸入品に25%、中国からの輸入品に10%の追加関税をかけることが現実になり、透明け3日の世界の株価は急落となりました。日本においても自動車株を筆頭に輸出関連株が急落しています。しかし、トランプ大統領は、「黄金の米国」を狙っており「株安の米国」を意図しているわけではないと思います。またサプライチェーンでつながっている世界が、アメリカだけが金持ちになることは物理的に無理です。ビジネスマンのトランプ大統領の政策も修正してくると思います。特に日本においてはこれからインフレ経済が始まるところで、内需株中心の相場もこれからです。

デュアルタップ(3469・S)は東京23区の駅から徒歩10分以内の立地に特化した資産運用型マンションの「XEBEC」シリーズを展開する不動産会社です。企画・開発・販売を主力事業として、賃貸管理、建物管理、海外不動産などの総合企業として成長を続けています。企画・開発・管理をワンストップで提案できることが強みで、投資用不動産として高付加価値を提供し、他社との差別化を図っています。

本欄第508回で紹介しましたが、その後の波乱相場の中でも堅調な動きとなっています。同社は2023年6月30日時点において、スタンダード市場の上場維持基準のうち、「流通株式時価総額」の基準を満たしていませんでしたが、「3か年計画」を策定し4つの重点戦略『I.安定基盤の強化』『II.新たな主軸の企画・構築』『III.財務目標』『IV.企業価値向上』に邁進した結果、24年6月30日時点において、上場維持基準の全ての項目に適合しています。

25年6月期の連結業績予想は売上高93億円(前期比79.8%増)、営業利益2億6,000万円、経常利益1億7,000万円、当期純利益1億円ですが、年間配当12円50銭(配当性向43%)は継続し、クオカードを含めたIR作戦も評価され、25年初頭から快調なスタートです。トランプショックに負けない強さに注目です。

中部経済新聞 2/4号より抜粋

雑誌『投資手帖』(2024年11月号)

投資系資産運用専門の情報誌『投資手帖』で当社が紹介されました



メディア情報

雑誌『株主手帳』(2024年6月号)

優待制度新設による注目度の上昇と当社の事業内容について取材を受けました



雑誌『空手LIFE』(2024年7&8月号)

当社の強みと企業理念、将来的なビジョンについて取材を受けました



雑誌『安くて良い株主優待』

(2024年7月発売)

金券&クオカード部門で1位



ダイナース会員誌『シグネチャー』(2024年7.8月合併号)

当社のXEBECのこだわりと開発の強みについて取材を受けました



投資家情報WEBメディア『アドバイザーナビ』(2024年5月)

事業概要と成長戦略に関するIRインタビューを受けました



各種雑誌・WEBメディアでも多数取り上げられています



参考情報リンク集

IR情報トップページ



<https://www.dualtap.co.jp/ir>

業績ハイライト



<https://www.dualtap.co.jp/ir/highlight.html>

IRニュース



<https://www.dualtap.co.jp/ir/news.html>

YouTubeチャンネル

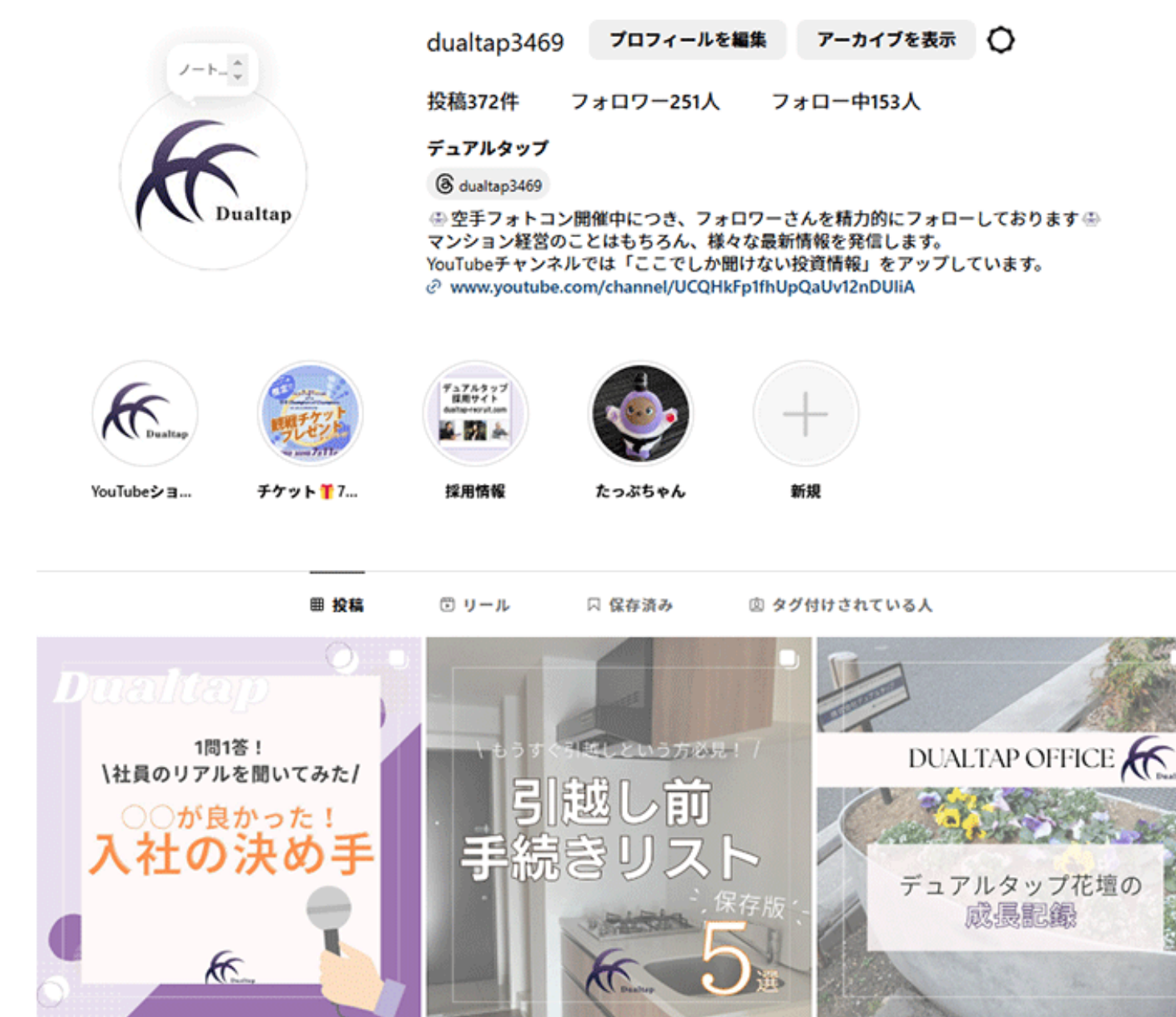


https://www.youtube.com/@dualtap_channel

参考情報リンク集

SNS

Instagram



Follow Me



X (旧Twitter)



Follow Me



YouTube



Follow Me



Facebook



Follow Me



笑顔創造企業



免責事項

この資料に掲載されているデュアルタップの現在の計画・見通し・戦略等のうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたデュアルタップの経営者の判断に基づいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果になる場合がございます。実際の業績に影響を与え得る重要な要素は、事業活動を取り巻く個人消費動向を中心とした経済情勢及び業界環境などですが、これらに限定されるものではありません。

この資料に掲載されている情報は、あくまでデュアルタップをより理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

また、掲載されている情報は常に最新情報を反映しているものではなく、今後予告なしに内容変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

この資料に関するお問い合わせ先:

株式会社デュアルタップ (TEL)03-6849-0055(代表)

<https://www.dualtap.co.jp>

2025年6月期 第2四半期

株式会社デュアルタップ
(東証スタンダード・名証メイン 3469)

2025年 2月 14日